

(様式第1号)

令和元年9月25日

認定介護福祉士認証・認定機構
理事長 様

領域名： 医療に関する領域

科目名： 疾患・障害等のある人への生活支援・連携 I

単位数： 2単位

認証申請する研修の名称： 神奈川県介護福祉士会 令和2年度認定介護福祉士養成研修

団体名： 公益社団法人神奈川県介護福祉士会

団体事務所の所在地： 〒231-0002

神奈川県横浜市中区海岸通4丁目23番地 マリンビル305号室

電話： 045-319-6687

FAX： 045-222-6676

E-mail： info@kanagawa-accw.org

下記書類を添えて上記科目に対する研修の認証を申請します。

団体代表者： 会長 コッシュイシイ美千代 ㊞

申請責任者： 梅田 滋

記

○認定介護福祉士研修認証申請書（別紙1～3）

<機構使用欄>

受付	
確認	
委員付託	
追加連絡	
評価報告	
理事会承認	
認証番号	

(別紙1) 認定介護福祉士研修認証

※申請受付番号 _____

(※は記入しないでください)

認定介護福祉士研修認証申請書

申請年月日	令和元年9月25日
申請団体名	公益社団法人神奈川県介護福祉士会
申請団体代表者氏名	会長 コッシュイシイ美千代
申請責任者職名	組織運営事業部
申請責任者氏名	梅田 滋
団体住所	〒231-0002 神奈川県横浜市中区海岸通4丁目23番地 マリンビル305号室
同 Tel・Fax	Tel : (045)-(319)-(6687)
メールアドレス	Fax : (045)-(222)-(6676)
	E-mail info@kanagawa-accw.org
申請対象の領域	領域名 : 医療に関する領域
科目名 (単位数)	科目名 : 疾患・障害等のある人への生活支援・連携 I (2単位)
申請する研修名	神奈川県介護福祉士会 令和2年度認定介護福祉士養成研修
研修認証実績	年 認証番号 ()
	年 認証番号 ()
	年 認証番号 ()
その他特記事項	

(別紙2) 認定介護福祉士研修認証

認証申請科目に対する研修の内容

申請対象の領域	医療に関する領域	
科目名	疾患・障害等のある人への生活支援・連携 I	
(1) 提供する研修について		
研修名	神奈川県介護福祉士会 令和2年度認定介護福祉士養成研修	
研修目標	<ul style="list-style-type: none"> 認定介護福祉士として、生活支援の場面で必要となる医療的ケアや判断及び医療職等との連携の際の根拠となる医療に関する基礎的な知識を獲得する。 	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 生活支援場面で必要となる、解剖生理、病態生理、症候、疾病、構造、機能等の基礎的な内容を理解し、他者に説明できる。 疾患・障害等について、その機序、主な症状、診断・治療、経過と予後等の生活支援に必要な基礎的な内容を理解し、他者に説明できる。 他職種と共有すべき情報の内容を理解し、他者に説明できる。 	
研修内容（研修プログラム）	含むべき内容	研修プログラム
	<ol style="list-style-type: none"> 生活支援場面で必要となる解剖生理、病態生理、症候、構造、機能、疾病等に関する基礎知識 疾患・障害等において、生活支援に必要な基礎知識 <ol style="list-style-type: none"> 機序、症状、診断・治療、経過と予後 主な薬の知識（作用と副作用） リスクと対応 生活支援の留意点・観察ポイント 他職種と共有すべき情報 	<ul style="list-style-type: none"> 生活支援場面で必要となる解剖生理、病態生理、症候、構造、機能、疾病等に関する基礎知識 疾患・障害等において、生活支援に必要な基礎的な知識 <ol style="list-style-type: none"> 神経系疾患 循環器系疾患 呼吸器疾患 代謝系疾患 筋骨格系疾患 精神疾患 泌尿器疾患 その他の疾患等 他職種と共有すべき情報の基礎知識 <p>※上記を講義・課題学習で実施する。課題学習については、テキストより課題を出し、レポートを提出し、内容を評価する（100点満点中60点以上を合格とし、それ以下はレポートの再提出を求め採点する）。</p>
研修方法	<input checked="" type="checkbox"/> 通学課程（集合研修） <input type="checkbox"/> 通信課程（通信研修） コマシラバス上のテーマ1～11について、集合研修（15時間）を行い、うちコマシラバス上の1、2、3、5、6、7、8、9、11については、課題学習レポート（15時間）を提出する。	
研修時間	30時間（集合研修時間15時間、課題学習時間15時間）	
修了要件	原則として全過程の出席を要する。遅刻/早退について30分以上は認めない。ただしやむを得ない事情による合計30分以内の遅刻/早退がある場合には、レポートの提出により評価する。代替レポートについては、到達目標を確認できる内容で出題する。800字程度。100点満点中60点以上であること。 また以下の条件を満たすことを、修了の要件とする。 筆記試験：50問：90分、100点満点中60点以上であること。 課題学習レポート：各800字程度。すべてのレポートが100点満点中60点以上であること。 不合格の場合は、再度レポートの提出により評価する。レポートは到達目標を確認できる内容で出題する。800字程度。100点満点中60点以上により、修了とする。	
講師要件（講師の選定基準）	<ul style="list-style-type: none"> 当該科目における知識・専門性を有し、講師等の教育経験があること 修士課程を修了していることが望ましい 	

	<ul style="list-style-type: none"> 在宅支援の経験がある医師または看護師が望ましい 医師：大学講師以上または学会認定専門医以上が望ましい 看護師：大学講師以上または「認定看護師」以上の資格を所持していることが望ましい <p>以上の講師要件に基づき、講師を選定する。</p>
(2)受講者について	
受講対象 (受講要件)	介護福祉士資格取得後5年以上勤務した経験を有し、ファーストステップ研修修了、または現任研修100時間以上の受講歴（但しレポート課題有）がある者
修了評価（習得度、研修成果）	<p>評価基準：</p> <ul style="list-style-type: none"> 生活支援場面が必要となる、解剖生理、病態生理、症候、構造、疾病等の基礎的な内容を理解し、他者に説明できる。 疾病・障害等について、その機序、主な症状、診断・治療、経過と予後等の生活支援に必要な基礎的な内容を理解し、他者に説明できる。 他職種と共有すべき情報の内容を理解し、他者に説明できる。 <p>以上の評価基準に基づき、筆記試験、レポート提出等で習得度及び研修成果を評価する。</p> <p>筆記試験：50問:90分、100点満点中60点以上であること。 課題学習レポート：各800字程度。すべてのレポートが100点満点中60点以上であること。</p> <p>評価基準に到達していない場合には、再評価により修了とするか、不合格（再履修）とする。</p>
(3)研修の環境条件	
定員（講師の配置基準）	30名（講師1名）
開催場所（都道府県）	神奈川県在宅医療トレーニングセンター（神奈川県横浜市）

(別紙3) 認定介護福祉士研修認証

認証申請する研修の実施体制等 (届出事項)

(1) 研修の実施予定	
実施日	① 令和2年9月中旬
	② 令和2年9月下旬
	③
開催場所 (会場)	① 神奈川県在宅医療トレーニングセンター
	② 神奈川県在宅医療トレーニングセンター
	③
(2) 講師	
担当、氏名及び略歴	佐久間 志保子 氏
	和泉短期大学 介護福祉専攻科 教授
	看護師、社会福祉士 ※略歴は別紙を参照
(3) 実施体制	
研修の企画運営の組織 (担当部局・人員)	組織運営事業部 (5名)
研修の企画運営に関する諸 規程	認定介護福祉士養成研修実施要領
研修管理責任者職名	組織運営事業部
研修管理責任者氏名	梅田 滋
機構問合先部署	神奈川県介護福祉士会 事務局
機構問合先担当者氏名	廣田都美枝、中村多恵子
機構問合先電話番号/FAX	045-319-6687/045-222-6676
機構問合先 e-mail アドレス	info@kanagawa-accw.org
受講問合先部署	神奈川県介護福祉士会 事務局
受講問合先担当者氏名	廣田都美枝、中村多恵子
受講問合先電話番号/FAX	045-319-6687/045-222-6676
受講問合先 e-mail アドレス	info@kanagawa-accw.org
(4) 研修履歴の管理体制	
受講者への付与単位部門	I 類
受講履歴の管理方法	科目に使用したテキスト、講義資料、筆記試験、課題提出レポート等の紙媒体、及び受講履歴等のデータすべてを、神奈川県介護福祉士会事務局にて管理する。 保存期間は10年以上とする。
受講履歴の証明	科目毎に修了証を発行
管理責任者氏名	会長 コッシュイシイ美千代
管理担当者氏名	組織運営事業部 梅田 滋

(別添資料)

集合研修における具体的なコマシラバス

申請対象の領域 医療に関する領域

科目名 疾患・障害等のある人への生活支援・連携 I

集合研修の総時間数 30時間 (集合研修時間15時間、課題学習時間15時間)

1日目 (16時間) 集合研修時間8時間、課題学習時間8時間

時間	テーマ	展開内容 (講義ポイントや演習の展開内容)	留意事項等	担当講師 (補助講師)
<6時間> 集合研修時間：2時間 課題学習時間：4時間	1. 生活支援場面で必要となる解剖生理、病態生理、症候、構造、機能、疾病等に関する基礎知識	○移動、移乗、歩行、食事、整容、更衣、トイレ動作、入浴に関連した身体機能の基礎知識 (解剖・生理) とバイタルサイン及び疾患の代表的な症状を学習する	テキスト「メディカルスタッフのための内科学」 テキストをもとに課題学習 (レポート) の対象とする レポートのテーマ： 生活支援場面で必要となる解剖生理、病態生理、症候、構造、機能、疾病等に関する基礎知識の理解を確認できる内容とする	佐久間志保子氏 和泉短期大学 教授

<p>< 2時間 ></p> <p>集合研修時間：1時間 課題学習時間：1時間</p>	<p>2. 疾患・障害等において、生活支援に必要な基礎的な知識①</p>	<p>○感染症</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感染症が局所的、全身的疾患であることを理解する。感染症の分類、概念、病態、診断を理解する。感染症の治療、予防について理解する <p>※以下、各疾患・障害等について次の内容を踏まえる</p> <ul style="list-style-type: none"> ①機序、症状、構造、機能、診断・治療、経過と予後 ②主な薬の知識（作用と副作用） ③リスクと対応 ④生活支援の留意点・観察ポイント ⑤他職種と共有すべき情報 等 	<p>テキスト「メディカルスタッフのための内科学」</p> <p>テキストをもとに課題学習（レポート）の対象とする</p> <p>レポートのテーマ： 感染症について、生活支援に必要な基礎的な知識の理解を確認できる内容とする</p>	<p>佐久間志保子氏 和泉短期大学 教授</p>
<p>< 2時間 ></p> <p>集合研修時間：1時間 課題学習時間：1時間</p>	<p>3. 疾患・障害等において、生活支援に必要な基礎的な知識②</p>	<p>○神経・筋疾患</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中枢神経疾患の原因病態を理解する。抹消神経疾患の原因、病態を理解する。筋疾患・筋委縮には神経原性と筋原性があることを理解する 	<p>テキスト「メディカルスタッフのための内科学」</p> <p>テキストをもとに課題学習（レポート）の対象とする</p> <p>レポートのテーマ： 神経・筋疾患について、生活支援に必要な基礎的な知識の理解を確認できる内容とする</p>	<p>佐久間志保子氏 和泉短期大学 教授</p>

<p>< 2時間 > 集合研修時間：2時間</p>	<p>4. 疾患・障害等において、生活支援に必要な基礎的な知識③</p>	<p>○高次脳機能障害</p> <ul style="list-style-type: none"> ・脳血管障害、頭部外傷などの器質的損傷により失語・失行・失認といった局在的巣症状、注意障害や記憶障害などの欠落症状、判断・遂行機能障害・社会的行動障害などを呈する状態像を理解する 	<p>講師作成資料</p>	<p>佐久間志保子氏 和泉短期大学 教授</p>
<p>< 4時間 > 集合研修時間：2時間 課題学習時間：2時間</p>	<p>5. 疾患・障害等において、生活支援に必要な基礎的な知識④</p>	<p>○循環器疾患</p> <ul style="list-style-type: none"> ・心電図を通して不整脈を理解する。心不全の病態、治療について理解する。虚血性心疾患、狭心症、心筋梗塞の症状・診断・治療について理解する <p>○呼吸器疾患</p> <ul style="list-style-type: none"> ・気管支、肺の感染症について理解する。呼吸不全を生じる慢性の肺疾患について理解する。肺循環障害による疾患について理解する。肺の腫瘍性疾患について理解する 	<p>テキスト「メディカルスタッフのための内科学」</p> <p>テキストをもとに課題学習（レポート）の対象とする</p> <p>レポートのテーマ： 循環器疾患や呼吸器疾患について、生活支援に必要な基礎的な知識の理解を確認できる内容とする</p>	<p>佐久間志保子氏 和泉短期大学 教授</p>

2日目（14時間）集合研修時間7時間、課題学習時間7時間

※集合研修終了後、ひきつづき科目修了の筆記試験（50問）を実施する。時間：1時間30分

時間	テーマ	展開内容（講義ポイントや演習の展開内容）	留意事項等	担当講師 （補助講師）
<p><2時間></p> <p>集合研修時間：1時間 課題学習時間：1時間</p>	6. 疾患・障害等において、生活支援に必要な基礎的な知識⑤	<p>○消化器疾患</p> <ul style="list-style-type: none"> 消化器の炎症性疾患、感染症について理解する。消化器の腫瘍性疾患を理解する。肝臓、胆嚢、膵臓疾患について理解する <p>○代謝系疾患</p> <ul style="list-style-type: none"> 代謝疾患の成因と病態を理解する。肥満と生活習慣病の関連性を理解する。メタボリックシンドロームの概念を理解する。代謝異常の進展と動脈硬化症疾患の発生機序を理解する 	<p>テキスト「メディカルスタッフのための内科学」</p> <p>テキストをもとに課題学習（レポート）の対象とする</p> <p>レポートのテーマ： 消化器疾患、代謝系疾患について、生活支援に必要な基礎的な知識の理解を確認できる内容とする</p>	<p>佐久間志保子氏 和泉短期大学 教授</p>
<p><2時間></p> <p>集合研修時間：1時間 課題学習時間：1時間</p>	7. 疾患・障害等において、生活支援に必要な基礎的な知識⑥	<p>○泌尿器疾患</p> <ul style="list-style-type: none"> 腎臓の機能を学習し、腎不全時にみられる症状・重症度を理解する。人工透析を理解する。糖尿病腎症の病態を理解する。膀胱機能を理解し、頻尿・失禁の病態を理解する 	<p>テキスト「メディカルスタッフのための内科学」</p> <p>テキストをもとに課題学習（レポート）の対象とする</p> <p>レポートのテーマ： 泌尿器疾患について、生</p>	<p>佐久間志保子氏 和泉短期大学 教授</p>

			活支援に必要な基礎的な知識の理解を確認できる内容とする	
<p>< 3時間 ></p> <p>集合研修時間：1時間</p> <p>課題学習時間：2時間</p>	<p>8. 疾患・障害等において、生活支援に必要な基礎的な知識⑦</p>	<p>○筋骨格系疾患</p> <ul style="list-style-type: none"> 骨の構造と仕組みを理解し、骨折の症状、分類、治癒、骨折による合併症状を理解する。骨粗しょう症、関節リウマチ、変形性関節症、脊柱管狭窄症を理解する 	<p>テキスト「骨・関節系の症状・疾患の理解と看護」</p> <p>テキストをもとに課題学習（レポート）の対象とする</p> <p>レポートのテーマ： 筋骨格系疾患について、生活支援に必要な基礎的な知識の理解を確認できる内容とする</p>	<p>佐久間志保子氏</p> <p>和泉短期大学教授</p>
<p>< 3時間 ></p> <p>集合研修時間：1時間</p> <p>課題学習時間：2時間</p>	<p>9. 疾患・障害等において、生活支援に必要な基礎的な知識⑧</p>	<p>○筋骨格系疾患</p> <ul style="list-style-type: none"> 高齢者に多い骨折等（大腿骨頸部骨折・ぎょう骨遠位端骨折、腰椎圧迫骨折、等）を理解する 	<p>テキスト「骨・関節系の症状・疾患の理解と看護」</p> <p>テキストをもとに課題学習（レポート）の対象とする</p> <p>レポートのテーマ： 筋骨格系疾患について、生活支援に必要な基礎的</p>	<p>佐久間志保子氏</p> <p>和泉短期大学教授</p>

			な知識の理解を確認できる内容とする	
<p>< 2時間 ></p> <p>集合研修時間：2時間</p>	<p>10. 疾患・障害等において、生活支援に必要な基礎的な知識⑨</p>	<p>○精神的疾患</p> <ul style="list-style-type: none"> ・統合失調症、うつ病、せん妄、アルコール依存症候群、睡眠障害等 <p>○発達障害・知的障害</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自閉症・アスペルガー症候群・広汎性発達障害・学習障害、注意欠陥多動性障害病態、を理解しライフステージに応じた支援の違いを理解する ・知的障害の評価を理解しライフステージに応じた支援の違いを理解する 	<p>テキスト「発達障害の心理臨床」</p>	<p>佐久間志保子氏</p> <p>和泉短期大学教授</p>
<p>< 2時間 ></p> <p>集合研修時間：1時間</p> <p>課題学習時間：1時間</p>	<p>11. 疾患・障害等において、生活支援に必要な基礎的な知識⑩</p>	<p>○その他の疾患</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感覚器系の解剖及び疾患を理解する。白内障・緑内障、老人性難聴 	<p>テキスト「メディカルスタッフのための内科学」</p> <p>テキストをもとに課題学習（レポート）の対象とする</p> <p>レポートのテーマ： その他の疾患について、生活支援に必要な基礎的な知識の理解を確認できる内容とする</p>	<p>佐久間志保子氏</p> <p>和泉短期大学教授</p>